

もりの おいしやさん

村山桂子 作 なかのひろたか 絵



日本の創作幼年童話 ⑪

もりの おいし屋さん



著者 **村山桂子**
むらやまけいこ

発行者 **岡本陸人**

印刷 株式会社 精興社

写植 五常写植印刷株式会社

製本 土開製本株式会社

発行所 株式会社 **あかね書房**

東京都千代田区西神田三二二一

電話 東京 二六三〇六四一(代)

㊟ 一〇一

一九七〇年八月十日第一刷

定価三八〇円

NDC 913

村山桂子

もりの おいし屋さん

あかね書房 1970

93 P 22cm 日本・創作幼年童話17

もりの おいしゃさん

村山桂子作 なかのひろたか絵



どうぶつびょういんの いんちようさんは、
ずんぐり むつくりの ふとっちょさん。

えっちら おっちら あるくので、

おっちらせんせいと いいました。

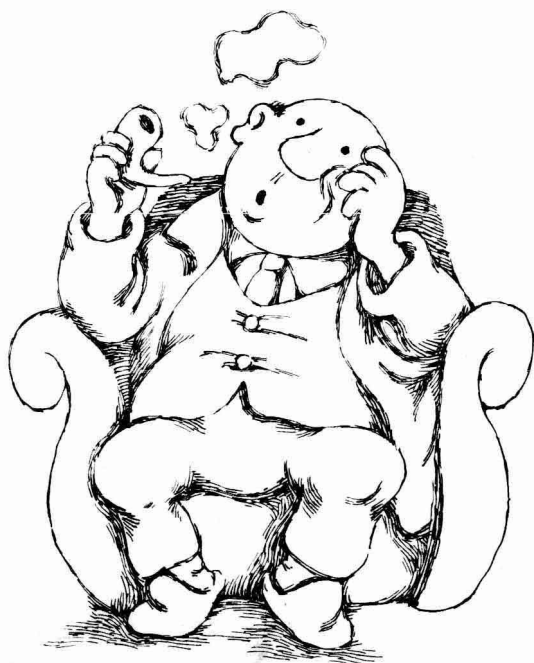
おっちらせんせいは、もう 四十ねんも、

このまちで、どうぶつの おいしやを
していました。

でも、そのしごとも、もう おわり。



おっちらせんせいは、
どうぶつびょういんを
やめて、いなかへ
こしていくのです。
しずかな いなかで、
のんびり
くらしたく
なつたのです。





おっちらせんせいは、もりのそばに、
ちいさなうちが、できあがると、

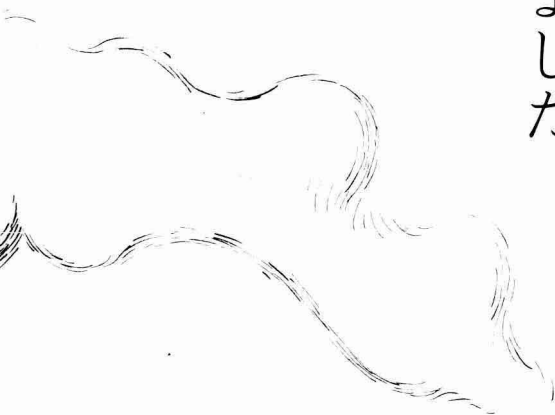
りよ、こうかばんと、こうもりを、もって、
いなかへ、たつていきました。

でんしやに、のつて、

きしやに、のつて、

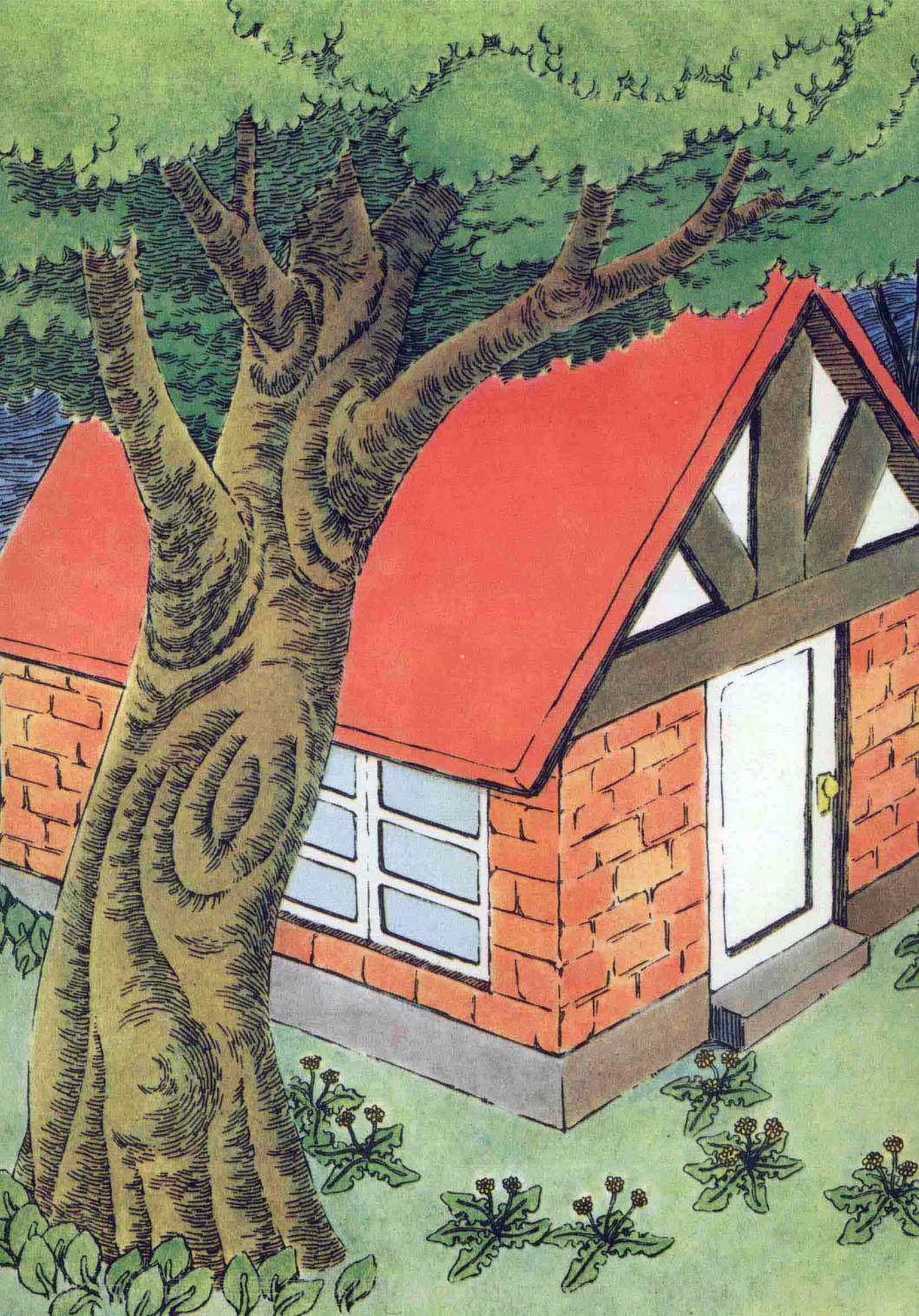
それから、また

ばすに、のつて、



原书缺页

原书缺页



おっちらせんせいは たのしくなつて、

おどるような あしどりで、ちかづきました。

ところが、とぐちの そばに いくと、

なかから、はなしごえが きこえてきます。

それも、ひとりや ふたりでは ありません。

ぺちやくちや がやがや おおぜいです。

おっちらせんせいは、いりぐちの とを

あけて、そつと なかを のぞいてみました。

すると　まあ、それは　もりの

どうぶつたちでした。うさぎに　たぬきに

きつねに　りすに　くまに　さるに　ぶたに

しかに　ふくろう。

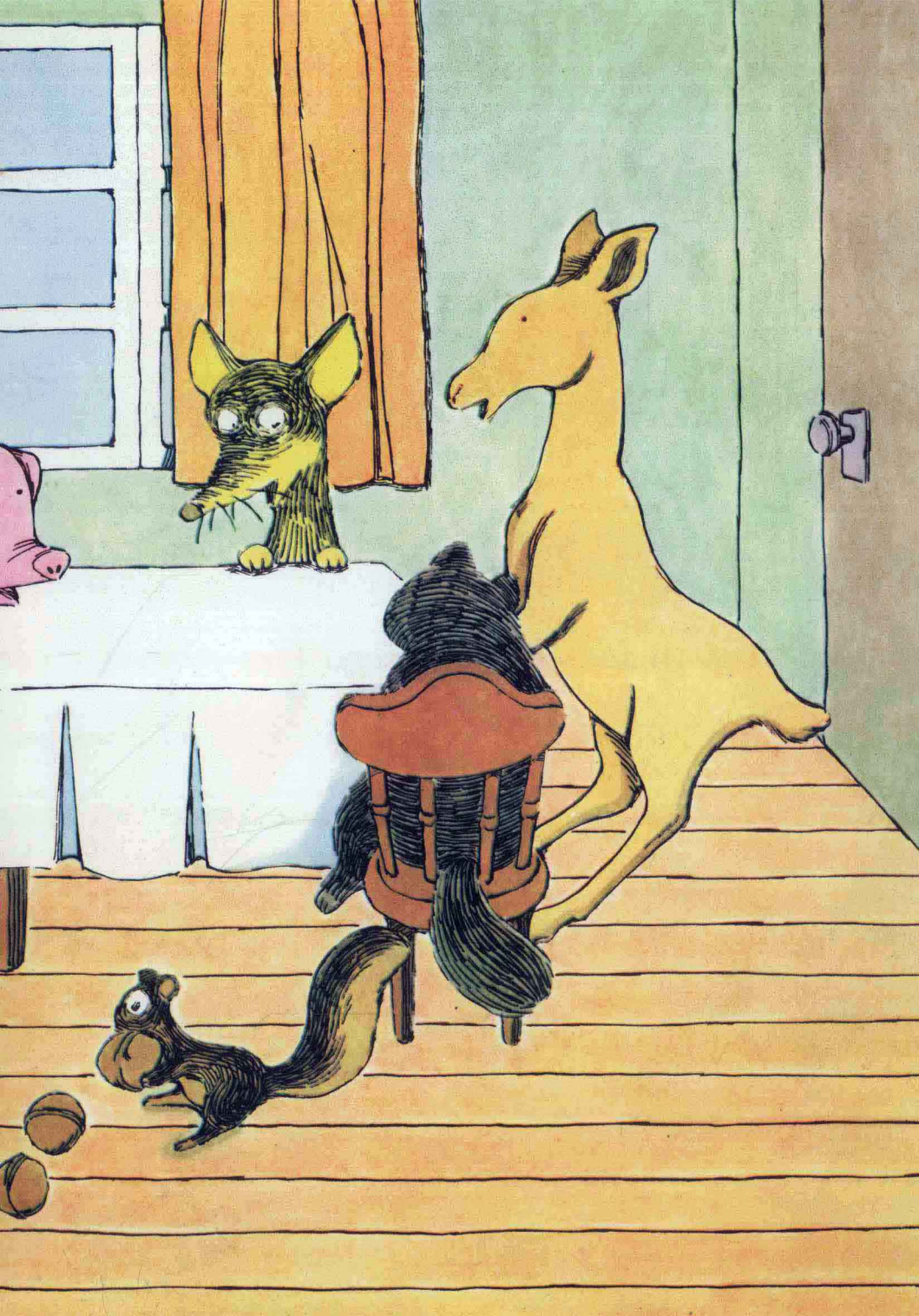
みんな、いすに　すわったり、

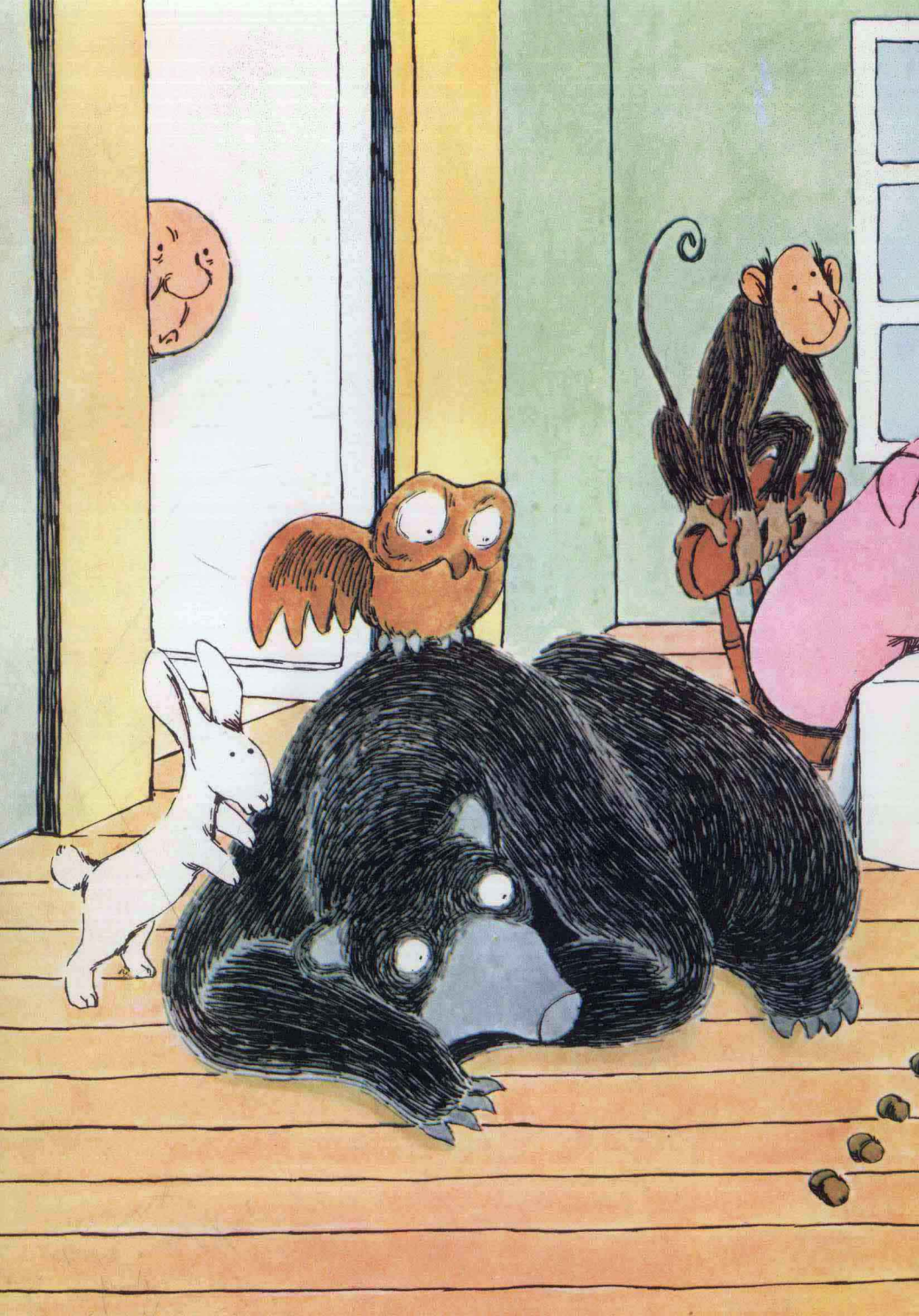
ゆかに　ねそべったりして、

たのしそうに　おしゃべりを

していました。







きつと、すてきな　うちを　みつけたので、
はいりこんで　やすんでいるのでしよう。

でも、おっちらせんせいは、

ちよつとばかり　うんざりしました。だって、
せつかく　どうぶつびょういんを　やめて、
のんびりしようと、ここへ　きたのです。

それなのに、また　どうぶつたちと、

かおを　あわせなければ　ならないなんて。

もう、どうぶつは

たくさんです。

そこで、

おっちらせんせいは、

わざと どたばた

はいつていくと、

おおきな こえで

いいました。

